

埼玉工大、自動運転技術開発センターを強化 レベル4対応の自動運転バスの開発へ向けて研究者を増員

埼玉工業大学

埼玉工業大学（本部：埼玉県深谷市、学長：内山俊一、URL <https://www.sit.ac.jp/>）は、自動運転の研究・開発体制の強化に向けて、自動運転技術開発センター（センター長：埼玉工業大学 工学部 情報システム学科 渡部大志 教授）の研究者を増員します。

本学は、国内の私立大学に先駆けて2019年4月に自動運転技術開発センターを学長直轄の研究部門として設立しました。

このたび、2024年1月より、自動運転技術開発センターの研究者を倍増し、研究・開発体制を大幅に強化し、レベル4への対応も視野に入れて産学官連携で開発を推進していきます。



写真：自動運転技術開発センターの新体制の研究者（本学の研究者のみ）

新体制の研究者（＊・・・新メンバー）

- 渡部 大志 センター長、工学部情報システム学科 教授／画像認識工学研究室
 - 鯨井 政祐 工学部情報システム学科 教授／ヒューマンインタフェース研究室
 - 和田 正義 特任客員教授
 - ＊田中 克明 人間社会学部 情報社会学科 教授／知能情報システム研究室
 - ＊中村 晃 工学部情報システム学科 教授／システム制御研究室
 - ＊本吉 裕之 人間社会学部 情報社会学科 准教授／経営企画研究室
 - ＊望月 義彦 工学部情報システム学科 講師／視覚情報処理研究室
- 以上、7名

本センターは、全国内各地で開催される自動運転の社会実装に向けた実証実験に多数の参加実績があります。実証実験では本学が開発した自動運転バスの車両を提供して、自動運転の技術支援を担当することが多いです。

また、本学のスクールバスとして、私立大学では国内初となる自動運転の大型バスを導入して、大学の最寄り駅（JR 高崎線岡部駅）からキャンパスまでの公道を、実際に学生を乗せて送迎（期間限定運行）も始めています。

2024年には、大学の地元である埼玉県深谷市の深谷自動運転実装コンソーシアムの中核メンバーとして「深谷自動運転バス試乗会 in 深谷」に参加し、地元の小中学生へ自動運転の特別授業を実施しました。

また2月には、奈良県（明日香村、三郷町）での実証実験に参加する予定です。

<参考情報>

○埼玉大の自動運転バスについて

埼玉工業大学が開発した自動運転機能を後付けで搭載した大型バスは、路線バスとして営業運行するために緑ナンバー（業務用）を取得しています。車両の仕様は、日野レインボーをベースにした長さ：910cm、幅：244 cm、高さ：307 cm、定員 58 人乗り、5.19L ディーゼル車で、Autoware*を採用した自動運転の実証実験用車両です。

Autoware をジョイスティック車**として架装された車両にカスタマイズする形で開発された自動運転 AI を搭載し、AI による障害物の検知（識別・分類）機能を強化して、複数のライダーやカメラの画像情報をディープラーニング（深層学習）により周囲環境として AI で認識して、障害物を回避して走行が可能です。

埼玉工業大学は、埼玉県先端産業創造プロジェクトのスマートモビリティ実証補助に 2 年連続で採択されました。令和 3 年度埼玉県デジタル技術活用製品開発費補助にも採択されています。同車両の開発は、これら埼玉県の補助と株式会社ミクニライフ&オート（社長：佐藤 好宏、本社：埼玉県加須市）の全面的な技術協力により産学官連携で実現しています。

*：「Autoware」は The Autoware Foundation の商標です。

**：「ジョイスティック車」株式会社ミクニライフ&オートから販売されている障がい者向け車両です。

<関連情報>

●自動運転関連情報

- ・埼玉大 自動運転特設サイト：<http://saikocar.sit.ac.jp/>
- ・埼玉工大、アイサンテクノロジーと自動運転の研究開発で連携協定を締結
https://www.sit.ac.jp/news/230406_1/
- ・動画：ITS World Congress の公式 TV による本学の自動運転への取り組み
<https://www.youtube.com/watch?v=nP516Q1IGow>

○連絡先

- ・埼玉工業大学 法人本部 広報担当：神山
〒369-0293 埼玉県深谷市普濟寺 1690
TEL 048-585-6805（直）、E-mail：kamiyama@sit.ac.jp